

四季風

2017.2.19

下関に本社を構
えるクリーニング

会社の社長さんか
ら伺った話。厳し

い経営環境のため

市内の長府地区に

あった店舗を昨年末に閉じ
たところ、常連客から復活
を求める声上がり、新ス
タイルのサービスを今月下旬
から始めることになった

▼旧店舗近くのコインランドリーの一角を間借りして、クリーニングの無人受け渡しシステムなるものを県内で初めて導入。登録した会員は専用バッグに衣類を入れて自筆の伝票と一緒に店内の「受付ボックス」に投函すると、スタッフが回収してクリーニング後、同じ場所にある「お渡しボックス」に戻ってくる▼会員カードを機械に通すと自分の衣類だけが取れる仕組みで、24時間365日、好きな時に預けたり引き取ったりできる。自社にとっては店舗の家賃や受付係の人件費を削減でき、顧客にとっては時間を気にせずいつでも利用できるメリットがあるそうだ▼サービス内容の新規性以上に興味深いのは、地域住民の高い支持や信頼があったからこそ今回の決断ができたという点。社長は「お客からの声がエネルギーになった」と張り切る▼技術を磨き、誠実に日々仕事に励む大切さを再認識させられたこの話。商売に王道はない。(作)